

登壇者プロフィール・プログラム

2022 年 12 月 11 日 (日) 13:15 ~ 16:45 12:45 受付開始



兼子次生 (かねこ・つぐお)

1944 年 1 月大阪市生まれ。高校時代に部活で中根式を学び、関西大学速記部で活躍した。大阪早稲田速記専門学校で「速記概論」、「万国速記史」を刊行したほか、新聞記者として速記文化を追ってきた。浦城晋一三重大学教授のシュンペーター速記メモ解読では東ドイツの速記者捜しに協力した。速記技能検定一級合格、速記士。西日本新聞の電話速記、大阪府議会などを経験した。中公新書「速記と情報社会」がある。



広田照幸 (ひろた・てるゆき)

1959 年広島県生まれ。東京大学で教育社会学を学び、南山大学・東京大学で勤めた後、2006 年から日本大学文理学部教授。歴史と理論を中心に近現代の教育を考察している。『陸軍将校の教育社会学』(1997年、サントリー学芸賞受賞)、『日本人のしつけは衰退したか』(1999 年) など著書多数。2012 年から研究チームを作り、日教組の歴史について実証的に研究している。



菅原登 (すがわら・のぼる)

1951 年 1 月生まれ。父の影響で中学時代に早稲田式速記の通信教育を受講し、旭川日本大学高校で速記同好会を結成、のちに総合技術課程を修了した。速記には強い興味があり、1967 年 9 月中根速記学校(東京都千代田区)の通信教育本科課程を受講して 1968 年 1 月に修了した。二刀流だったが、1968 年に中根式一本にかえた。それ以来、速記全般について理論を比較研究し、<http://sokkidouraku> に『速記道楽』を開設して総合的な速記情報を蓄積、発信してきた。



布村育子 (ぬのむら・いくこ)

1968 年広島県生まれ。横浜国立大学で教育社会学を学び、東京学芸大学連合大学院博士課程を単位取得満期退学。教員採用試験対策講座(時事通信出版局)での講師を経て、現在は埼玉学園大学人間学部教授。2012 年から日教組の歴史を研究するチームに参加し、全国教育研究集会や日教組の平和運動について研究している。著書に『迷走・暴走・逆走ばかりのニッポンの教育』(2013 年)。



平野明人 (ひらの・あきひと)

1964 年愛知県生まれ。県立豊田北高校、大原簿記専門学校卒業。1976 年早稲田速記の通信教育を受講、以後中根式、モリタ式、石村式、田鎖 76 年式、V 式、Gregg 式、Pitman 式、Teeline 式等を独習した。1996 年 1 月の中根式を最初に早稲田式、モリタ式、石村式、そして自ら創案した示唆式の 5 方式で速記協会の一級試験に合格した。方式創案では示唆式のほか、日英両用の EPSEMS 式、日本語の PGTH 式、英語の Experimental Shorthand System がある。今回の解説研究の牽引車。天賦の才能を持つ。㈱アイダビ経営。



高木加奈絵 (たかぎ・かなえ)

1988 年青森県生まれ。東京大学大学院で教育行政学を学び、2020 年から倉敷芸術科学大学で講師。日本教職員組合を研究対象としながら、戦後の教育政策の歴史を考察している。2014 年から広田照幸氏の研究プロジェクトに参加しており、労働運動と日本教職員組合との関係を担当してきた。



菅原真悟 (すがわら・しんご)

1973 年宮城県生まれ。1992 年から中根速記学校実務速記科 2 年課程で中根式速記を学ぶ。1994 年同学校卒業。1995 年から衆議院事務局で会議録作成業務に従事する。1996 年から植田裕氏(速記研究者。故人)のゼミを受講するなど、高速度速記の探求を続ける。1 級速記士。中根式速記法準師範。2010 年高速度速記競技会 1 位入賞。

プログラム

会場受付開始 12:45
開会 13:15 開会挨拶 保坂正春(日本速記協会理事長)
司会 布村育子(埼玉学園大学教授)

第 I 部: 基調講演 13:30 ~ 14:30 国際会議場

- 基調講演 1
「1950 年代の日教組と発見された速記史料の意義」
広田照幸(日本大学教授)
- 基調講演 2
「戦後速記方式史と第三者解読への道——技術革新の波に洗われて——」
兼子次生(速記文化研究者)

【休憩】14:30 ~ 15:00
休憩時間には、速記者グループによる解読精度の検証結果を発表します。

第 II 部: 分科会 15:00 ~ 16:45

- 分科会 1 「速記史料の解読をめぐる」 会議室 2
 - 1 「多方式の独習経験と第三者解読から得たこと」
平野明人(速記研究者)
 - 2 「速記方式と速記者の探索、符号解読の事例」
菅原登(速記研究者)
 - 3 「符号解読で感じたこと、調査法などについて」
菅原真悟(中根式速記者)
- 分科会 2 「1954 年速記史料と日本教職員組合」 国際会議場
 - 1 「1954 年速記史料から見た旭丘中学事件と日本教職員組合」
高木加奈絵(倉敷芸術科学大学講師)
 - 2 「第 11 回定期大会における旭丘中学事件と政治的中立」
広田照幸(日本大学教授)

閉会 16:45



所在地: 東京都世田谷区桜上水 3-25-40
新宿から京王線で下高井戸下車 徒歩 10 分
桜上水駅下車 徒歩 10 分